

学習指導要領	〇〇高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成、論理展開の多様な型を知る。 ・論理展開にあたって用いられる、豊かな事例に目を向ける。 ・要旨を把握する力を身につける。 ・構成、展開が、筆者の個性と不可分であることを理解する。 ・さまざまな思想による、知見に興味を持つ。 ・対比や言い換えなどの関係や段落の構成をとらえ、それぞれの働きや関係について説明することができる。 <p>[具体的な教材に即して]</p> <p>夏目漱石「現代日本の開化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的、論理的な内容を聴衆に理解させるための工夫に気づかせる。 ・「積極的」「消極的」「内発的」「外発的」という、対をなす概念の意味を正確に理解しつつ、筆者の主張を読み取り、論の展開を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味、用法を正確に理解したうえで、文体や修辞の特徴にも目を向ける。 ・登場人物を取り巻く状況と、行動および情感を、作者がどのように、効果的に関係づけているか注目する。 ・詩歌は音読することで、独特のリズムにまで注目させる。 <p>[具体的な教材に即して]</p> <p>梶井基次郎「檸檬」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レトリックや構成に注目し、その時代を表彰するような情報に注意しながら、小説表現の豊かさを読み取る。 <p>芥川龍之介「枯野抄」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目に見えないはずの人間の内面を、語り手がどのように小説内に取り込んでいるか、その表現技法や効果について理解する。 <p>森鷗外「舞姫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに

学習指導要領	〇〇高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<p>密着して、小説を読む方法を学ばせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章で扱っている題材が、自分にとっても身近な話題である自覚を持つ。 ・文章で使われた論理を、自分でも応用してみることを試みる。 ・文章で扱った題材について興味を深め、同じ筆者の別の文章、関連した文章を読む。 <p>[具体的な教材に即して] 夏目漱石「現代日本の開化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治維新時とその後における日本の立場や歴史的な出来事、文化的な状況について知識を持たせ、筆者の主張を理解させる。 <p>芥川龍之介「枯野抄」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトルの意義に注目させ、この小説において「枯野」とは何か、「夢」とは何かといったことを考えさせる。そのことを通じて、人生や芸術や生死や人間関係といった問題が、読解の対象であり、そこにも種々の幅があることを考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝わるように書くことを心がける。 ・原稿用紙の使い方を理解する。 ・効果的な文章の構成を考える。 ・反論も想定して、自分の意見を伝える。 ・教材として扱った文章、同じ筆者の別の文章、別の筆者による関連話題の文章を読むことで、自分の情報量も高める。分析・整理して、自分の表現に効果的に取り入れるのは、そのあとの段階であろう。 <p>[具体的な教材に即して] 国語便覧「レポートの書き方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「進路学習」、「沖縄事前学習」などの課題に対し、適切な方法で情報を調べることができる。 <p>付録「小論文の書き方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「進路」などの目的に応じた方法で情報を収集することができる。

学習指導要領	〇〇高校 学カスタンダード
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比喻、反復、倒置、省略、対句などについて理解し、文章中の技法について説明するとともに、自らも用いることができる。 ・ 評論において、指示語や接続詞などの語句の意味や用法を的確に理解し、用いることができる。 ・ 小説において、本文中の語句の意味や用法を的確に理解し、用いることができる。

